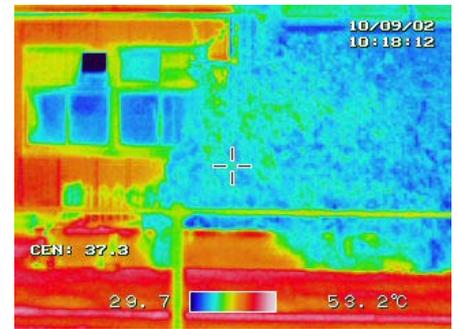


テーマ: 『 生活科や理科・総合的な学習への興味・関心及び学習意欲の向上 』

横浜市立 すずき野小学校

Tel. 045-901-6232

担当者: 山本 茂



■実践内容:

・本校では、5年前から横浜黒めだかを飼っている池？(岩石園と噴水)がある。毎年、春になると各学級でメダカを観察するためにこの池でめだかを捕獲している風景を目にする。一応メダカが生息するに適した環境は作ってきたが、ここ2年間、水が止水になっていたため、このままではメダカにとっていい環境とはいえ、水が循環するシステムを考えなくてはならない時期になっていた。今回、水の循環システムを6年の子ども達とやろうと考えたが、市の施設課の方で改修工事をやってもらえることになったので、その工事完了後、ビオトープの充実を計画している。

・4年生では、理科と総合の時間を使ってグリーンカーテンを作る活動に発展させ、快適な環境づくりの良さを気付かせる授業を行った。青葉区役所の方を招いてサーモグラフィーの実験を行い、温度の変化を実感したり、地域の様々な人との交流をしたりして熱心に取り組むことができた。

■実践成果:

様々な実践により、環境への理解を深め自然に親しむことができた。水辺の生き物や植物を観察・育てることを通して、自分たちの心も成長していることを実感できた。自分たちの生活環境の改善や食についての問題意識を持つことでより主体的に活動することができ、地域の方々から学んだことを発信する活動に発展した。

■実践ポイント:

- ・子ども達が興味をもっていることを実践に生かすと意欲の向上につながり、継続的な活動ができる。
- ・子ども達の思いを大切にするために、ていねいに聞き、常に全体で確認して取り組んだ。
- ・子ども達だけで解決できない問題にぶつかったとき、周りの人の助けを借りながら達成することを意識させた。環境問題に従事している人々と積極的に関わることで、その思いを知り、自分達を振り返るきっかけとなったり、協力してくださった方への感謝の気持ちを持つことができた。